

十月一日に迎えるいわき市  
市制施行六十周年を記念した  
キヤツチフレーズに、「いつで  
も わくわく きらきら I W  
A K I」が選ばれた。

# 募集中!

今春、  
発刊へ

元企業・店舗の「足跡」を一冊にまとめたストーリー集。刊行後は、市内外に配布する。

# 地元企業のストーリー集 いわき発！誕生モノ語り

社会に流通しているモノや  
サービスには、誕生にまつわる  
ドラマがある。それを掘り出し、

光を当て、発信すれば付加価値  
が生まれる——。

営業活動の中で売り上げを伸ばしていくためには、商品の魅力を伝えることが不可欠。一方モノやサービスだけでなく情報もあふれ、差別化が難しい昨今、

光洋、磐城桜が丘、いわき総合、平商業の各高校が日ごろの練習の成果を發揮。各校の紹

介、クリスマスの思い出を披露しながら、「クリスマスディスコキヤロ」「クリスマス・イブ」のほか「ルパン三世のテーマ」「カーペンターズ・フォーバー」のおなじみの曲も交えて演奏。満員の観客は、ひとときのクリスマスを楽しんでいた。

## 市制 60 周年キャッチフレーズ

# いつでもわくわく きらきら IWAKI

## 内藤さん (平二中) の作品選ぶ

選定されたキャラクチフレーズを考案したのは、平二中一年の内藤愛美さん。単語の頭文字を合わせて「いわき」を表現した。応募にあたり、「これからも、夢や希望を抱きながら輝ける、未来彩るいわき市である上うに、との思いで考えた」などとコメントを寄せている。

市は昨年、記念ロゴも制作。市民団体や民間企業が自主的に実施する、周年記念としてふさわしい事業を募つており、承認された場合、ロゴとキャッチフレーズの使用を許可している。詳細は、市総務課（電話二二七四〇一）まで。

り、厳選された五点で市民投票を実施。選ばれた作品は総計二千六百五十九票のうち六百八十票を集めた。得票率は二五・六%で、次点とはわずかな差だった。



## 地元高校生ら参加 Xマスコンサート

ひまわり信金

ひまわり信用金庫（本部・平  
上條博英理事長）は十二月

二十五日、いわき芸術文化交流館アリオスで「ひまわりクリスマスコンサート」を開催した。



# クリスマス曲を披露する 高校吹奏楽部